

事務事業名	コード1	1250	市民農園事業	課	農水産課		
	コード2			所属班	農業推進班		
			<input type="checkbox"/> 主要事業	電話番号	68-1174	内線	237
政策体系	基本方針	5	活力と躍動感に満ちたまちづくり	予算科目	会計		
	施策	1	農業の振興	根拠法令	特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律	款	項
	施策の展開	5	交流事業の促進		一般会計	06	01
	基本事業	288	都市との交流促進				03

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	都市住民等へ自ら育てた作物を収穫する喜びと、自然に親しむ場の提供 農業体験等により癒し効果を含め、農業の知識・理解の推進 開始 区画数 鎌数 H15.10 ・当初 68区画 ・H16.11～ 83区画 栽培指導会 年10回 栽培講習会 年3回 岩井 H15.7 32区画 【業務の流れ】 市民農園借受申込書提出→貸付可否決定・納入通知書通知

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)			
土地借上料	158,400円	・ 東総用水土地改良区賦課金	10,388円
高熱水費	6,896円	・ 消耗品費	96,898円
		・ 清掃等委託料	104,728円
② 延べ業務時間の内訳			
貸付決定等事務処理	90件×6h=540h		
農園講習指導会	13回×4h=52h		
農園講習指導会準備	86h		
農園管理	40日×8h=320h		

事業費	財源内訳	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	415	440	430	450		
	一般財源	千円	137	100	0	440		
	事業費計(A)	千円	552	540	430	890	0	0
	正規職員従事人数	人	0.50	0.50	0.50	0.50		
	延べ業務時間	時間	998	998	998	998		
	人件費計(B)	千円	3,792	3,792	3,792	3,792	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,344	4,332	4,222	4,682	0	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 維持管理 特になし	ア 指導会・講習会開催回数	回	4	8	0	8		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) 維持管理 栽培指導・栽培講習会	イ ウ							
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	農園利用希望者	ア 貸出可能区画数 鎌数	区画	83	83	83	83		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 岩井	区画	32	32	32	32		
	農業者以外の方が農業に親しむことによって、育てる喜びや収穫の楽しみを体験する	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	ア 利用率 鎌数 (農業体験の交流場としての利用状況の把握)	区画(%)	71(85.5)	80(96.3)	78(93.9)	78(93.9)			
	イ 利用率 岩井 (農業体験の交流場としての利用状況の把握)	区画(%)	12(37.5)	11(34.3)	12(37.5)	12(37.5)			
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	農薬を使わない農産物を作り大変さを体験するなどし農業への理解が進むことの期待	ア 意見交換・アンケートなどの実施 (市民農園としての役割、旭市農業への理解等の把握)							
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
安全な農産物栽培すること、農業体験等に「心身の癒し」を求め、農村との交流を求めている。こうした癒し・交流の場の提供 体験による農業への知識・理解の推進	利用者のほとんどが市内住民で、市外でも近隣市町 鎌数農園は利用者が増え利用率は90%以上と高い 岩井農園は利用状況が約40%と低い	農園の環境整備 使用農具充実

事務事業名	市民農園事業	課名	農水産課	班名	農業推進班
-------	--------	----	------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？ 農作業と収穫による交流を通じ消費者の農業に対する理解が進む
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 要綱上では利用年数が長年に渡っている利用者の整理が必要に思われるが、利用待ちをしていることのない現状の運営状況から見ると適切と思われる
	③ 行政関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 市に限定した運営ではなく、民間による運営も可能
	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 最近、農園の利用率が上がっているため、ある程度の目標は達成していると思われる。 兼業農園の利用率は高いが、岩井農園の利用率が低い
有効性 評価	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？ 農業への関心が高まっている中で、市民農園の利用希望者も増えてきているが、農園の環境により利用率に差が出ているように思われる。 岩井農園は農園環境の整備により利用率の向上を図る必要がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1) 具体的にはどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 都市農村交流の場として、都市部生協等の団体単位での貸し出しにより利用率を上げる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 運営方法、管理委託等により削減のできないか。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 栽培指導・講習会の開催が休日開催の中、参加者が少なく開催回数等の検討が必要 貸付決定事務等の簡素化による業務時間の削減
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 貸付期間の長い利用者が増えてきている。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	長期利用者の増加により、指導機会は不要か？新規利用者の開拓が必要だが、手入りを要するとすると農園に近い市民か。岩井農園は立地条件から不人気と思われるため、将来的には廃止か。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		
(2) 改革改善案について	※いつまでに、なにを、どうするのか？	
① 利用者マナーの向上による農園環境の整備 ② 岩井農園の利用率向上 ③ 栽培指導・栽培講習会の削減を図る ④ 貸付決定事務等の簡素化による業務時間の削減		
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		
① 岩井交流ステーションうなかみの大地との連携による利用促進 ② 市民農園の環境整備 ③ ④		

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			